



会全体の活力が失われるという事態に発展しかねません。

その原因として考えられるのは、保護者をはじめとする国民の意識の中で、外遊びやスポーツの重要性を学力の状況と比べて軽視する傾向が進んだことによるものだと考えています。

昔から、文武両道という言葉があるように、市としましても、勉学はもちろん、スポーツにおいても力を注いでいるところであり、毎年、さまざまなスポーツ大会を開催し、市民の体力向上、健康増進に貢献しているものと考えています。

質問にあります、スポーツ施設の整備について、市内の状況は、小張地区に総合運動公園があり、体育館施設やナイター設備を備えた野球場やテニスコートを整備しています。その他の地区にも、武道館やテニスコート、野球場があります。

しかしながら、温水プールやフットサル施設の設置要望については、施設の用地代・建設費用や維持管理費用などを考慮すると、現時点では、新たに建設することは難しい現状です。

そのために、守谷市にある常総運動公園は、つくばみらい市・守谷市・取手市・常総市の4市で構成する組織で整備した、言わば、つくばみらい市の施設で

す。当市からは少し遠い距離ですが、そちらの屋内プールやテニスコ場などの施設も大いにご利用ください。

【教育長答弁】

近年の小中学生の運動能力の低下は、国においても問題となっており、教育委員会としても、取り組むべき課題であると考えています。その原因としては、先ほどの市長の答弁や寺田議員が指摘していることなどが考えられます。

しかしながら、国のデータを見ると、運動能力の低下は、平均的な低下ではなく、何らかのスポーツを継続的に行っている児童・生徒については、運動が不足している状態には至っていません。つまり、現在スポーツを行っている児童・生徒に対して、接する機会をどう作っていくかが、ひとつのカギになってくると考えています。当市では、小学生を対象とした「ドッジボール大会」や、小・中学生を対象とした「なわとび大会」などを例年開催しています。

寺田議員が要望する、小・中学生の関心が高い「温水プール」や「フットサル」の施設の設置については、市長からもありましたとおり、建設費用や維持管理費用などを考えると大変厳しい状況にあります。

私は、つくばみらい市に大きな病院がなくて不便だと思えます。現在の状況では、もし救急車で運ばれるような緊急で重い病気のときには、市外の病院に搬送されることとなります。大きな病院が遠いために、病院に到着する間に命を落としてしまう危険性もあります。また、緊急ではなくとも、大きな病院で診てもらわなければならないお年寄りにとっては、移動が大変です。私たちがもしは大人になり、高齢者になります。大きな病院が市内にあると、とても心強く感じます。

そこで、市内に大きな総合病院を建設する予定があるのか、ないのであれば、この問題への取り組みについて教えてください。

【市長答弁】

中山議員の言うとおり、市内に大きな総合病院があれば、救急車による急病人の搬送や、高

病院の設置などについて



中山 美菜 3年
伊奈東中

高齢者の診療時の移動などで、市民の皆様方には、非常に心強く感じられることと思います。

そのため、私も市長に就任する前から、政策の柱の一つとして、市内への大きな病院を誘致することを掲げており、現在も積極的な誘致活動に取り組んでいます。

市内への総合病院の建設については、茨城県に病院設置を認めてもらう必要があります。県では、バランスのとれた医療体制の整備や、限りある医療施設を効率的に配置するために、県内を9つの地域に区割りし、これを「医療圏」といいます。当市は「つくば保健医療圏」に入り、つくば市、常総市の3市で医療圏を構成しています。

この医療圏には、ベッド数に基準が設定されており、ベッド数に不足があることが、新しい病院ができるための大きな条件とされています。

現在、県内では9つすべての医療圏で、ベッド数が基準を超えている状況であり、当市において、新たな大きな病院ができることは、大変難しい状況です。